

希望が香る、広報誌。

みみはら

vol. 25

ご自由に
お持ち帰り
ください

冬

特集1

365日チームで支える
地域の循環器診療

特集2

パンデミックにおける耳原ER
～COVID-19診療と救急医療の両立～



Illustration/岸みずほ



週1回のカテーテル室ミーティング

循環器センターでは初診から入院、検査および手術、そして退院後の経過フォローに至るまで、安心して診療を受けていただけるようサポート

密接な院内チーム連携と循環器センターによるトータルサポート

耳原総合病院は1950年の実費診療所から数えると70年以上の歴史を歩んできましたが、循環器内科における心臓カテーテル治療も1980年から40年にわたる実績を重ねてきました。また2015年の新病院移転後からは循環器センターを立ち上げ、医療の質や安全をマネジメントし、安心して治療を受けていただくための診療体制を多職種で確立してきました。今回は当院循環器センターの取り組みについて、少しご紹介します。





特集

循環器内科

します。初めてカテーテル検査や治療で入院される患者さんには、医師による外来診察の後に改めて看護師が説明を行い、検査や治療についてゆっくり時間をかけてご理解いただけます。また高齢の方など複数の疾患を抱える患者さんの受診に対しては循環器センターが他の診療科や他施設との調整にあたります。

循環器内科実績数

2020年度

	PCI	565件
	アブレーション	85件
	ペースメーカー 植え込み術	88件
	四肢の 動脈形成術	61件

さらに循環器内科と心臓血管外科とが緊密に連携し、治療方針の相談、共有を随時行っています。薬物療法、カテーテル治療、外科手術などの選択肢について、治療のメリットやリスクはもちろん患者さん個々の生活背景も考慮した上で治療方針の検討をチームとして行い、最適な診療を受けていただけるようご提案しています。



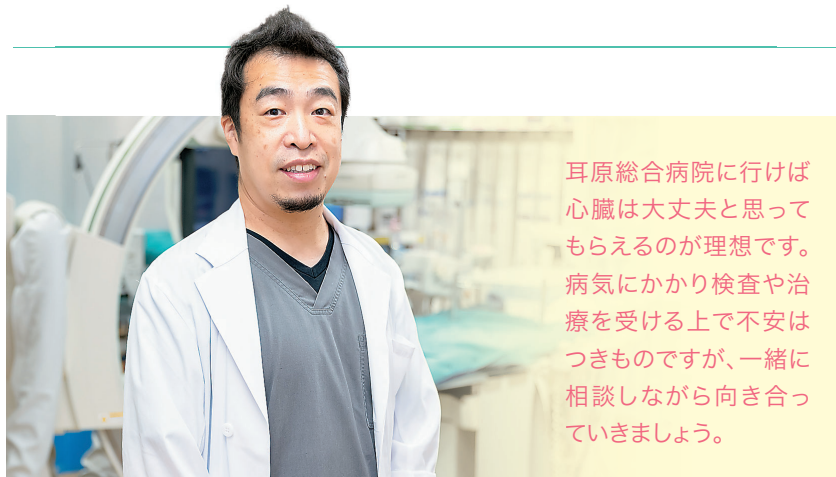
石原 昭三 副病院長 循環器センター長

365日チームで支える
地域の循環器診療

地域医療機関との 密接な連携


循環器診療において急性期医療を担うには、地域医療機関との連携は不可欠です。循環器救急疾患に対しては24時間365日、ハートコールを活用して循環器医師が直接、地域の先生方や救急隊からの要請に応えています。

一方で、病状安定後の継続診療や心不全、心房細動などの長期疾患管理においては、日常の診療は地域の先生方へお願いし、かかりつけ医と当院との二人主治医制をとるようになっています。これは半年ないし年に一度の検査や心臓疾患のチェックは当院にて行い、日常の投薬や診療は地域のかかりつけ医にお願いするもので、10年以上にわたり取り組んできました。現在ではかかりつけ医と我々病院スタッフが協力して診療にあたることの重要性を多くの方々に理解していただいています。



耳原総合病院に行けば心臓は大丈夫と思ってもらえるのが理想です。病気にかかり検査や治療を受ける上で不安はつきものですが、一緒に相談しながら向き合っていきましょう。

また当院での定期チェックの際に地域医療機関の先生方と相互に情報共有を行うことにより、患者さんを中心とした連携関係を深めることにもつながっています。病状が不安定な場合や重要な薬剤の調整が必要な場合などは、紹介状だけでなく直接お話しして情報共有するようにしています。

 みみはらハートチーム





く

す

り

の

ハ

ナ

シ

vol.20

おいしい季節：

食欲の秋から鍋物の冬

実りの秋を過ごし、あっといいう間に年末年始のシーズンになりました。このシーズンといえば、「食欲の秋」と「お鍋のおいしい冬」ですね。美味しいものをたくさん食べて、運動し、スッキリ快便!!の方もいれば、そうでない方もいるのではないのでしょうか？

今回はドラッグストアでも購入できる代表的な2つの便秘薬についてご紹介します。一番よく使われているのが酸化マグネシウムです。

酸化マグネシウムは腸管内に水分を集め、カチコチ便を柔らかくし、排便を促します。大腸を刺激しないので、

お腹が痛くなりやすく、くせになりにくいですが、その働きをしっかりと発揮するために

十分な水分が必要です。服用する際は、水分補給も忘れないで下さいね。腎機能が低下した方ではマグネシウムの排泄が滞り高マグネシウム血症になる場合があるため注意が必要です。

酸化マグネシウムは大腸を刺激しない薬ですが、大腸を刺激し、腸の蠕動運動を促す薬もあります。代表的なものがセンノシドです。センノシドは効果がでるまで、約8時間ほどかかり排便したい時間の8時間前に内服する必要があります。オススメは寝る前



す。寝る前に服用すると、約8時間後の朝食後にちょうど効果がでてきます。デメリツトは、長期間服用している

と、耐性ができ、増量しないと効果がなくなってしまう可能性があります。漠然と服用するのは避け、症状がある場合のみの服用がオススメです。

他にも様々な便秘薬がありますので、便秘で辛いと感じたら、いつでも薬剤師に相談して下さいね。

COVID-19の流行が始まって以降、耳原総合病院ER(救急外来)ではCOVID-19診療と救急医療の両立するため工夫を重ねながら診療を行ってきました。今回は未知のウイルスの流行に対応しながらも地域の救急医療を守るために重ねてきた経験をご紹介します。

パンデミックにおける耳原ER ~COVID-19診療と救急医療の両立~

大矢 亮 副病院長・救急診療センター長

発端から受け入れ開始

当院はCOVID-19の内流行が始まった2020年2月に地域医療支援病院として、大阪府からの要請を受けて、帰国者・接触者外来を開設しました。当時その後の流行がどのような経過をたどるかという見通しも立たない状況でしたが、感染症である以上救急医療と分けて診療を行うことはできないという判断もあり、ERの一部をレッドゾーン(感染区域)にしてCOVID-19の疑いがある患者さんの受け入れを開始しました。

当院で最初にCOVID-19と診断した患者さんのことは今でもよく覚えています。



発熱で発症した大阪市内在住の若い方で、当時はCOVID-19を心配しても診察や検査もなかなか受けることができない状況でした。

不安を抱えながらご自宅で療養しておられたのですが、いよいよ我慢ができなくなり救急車を呼んだものの、近隣で受け入れ可能な病院が見つからず大和川を越えて搬送されてきました。診断結果をお伝えすると診断がはっきりした安心感と救急搬送を受け入れたことに対する感謝をたくさん伝えて下さいました。その言葉を聞き、改めてCOVID-19診療と救急医療を両立することが必要だと感じました。

第1波から第3波

第1波では大きな受診控えがあり救急受診も減ったため、その間にCOVID-19診療を行うために必要なスタッフの教育や物品の確保を進めました。その頃はマスクやガウンといった感染症診療に必要な物品の供給が間に合わず、地域の方がビニール袋から作って下さった手作りガウンを着て診療を行った時期もありました。

第2波では受診控えは目立たなくなり、本格的にCOVID-19診療と救急医療の両立が求められるようになりしました。そして、大阪市内を中心に堺市外からの救急搬送が目立つようになったのはこの頃からでした。

第3波では心配していたインフルエンザの流行が起こりませんでした。堺市内でもCOVID-19患者が急増し入院させたくてもできない患者さんや、重症化して人工呼吸器が必要な患者さんを経験するようになりました。

様相が違った第4波

そして迎えた第4波は、それまでとはまったく様相が異なりました。救急搬送要請数は例年の1.5倍近くとなり、救急車を受け入れたくてもERの隔離スペースが全て埋まって受け入れることができないことが続きました。堺市外で発生した院外心肺停止

患者さんを何人も受け入れなければならぬことは、これまで経験したことがありませんでした。

それでも何とか前を向いて診療を続けることができたのは、地域の救急医療を守るというミッションをERスタッフやERで診療している医師を中心に、病院全体で共有しながら同じ方向を向くことができたことと、周辺の医療機関や救急隊、保健所など一緒に地域を支える方々が大変な状況の中でも、それぞれの立場で力を尽くしている姿に勇気づけられたからでした。

第5波もこれからも

第5波は大阪府や堺市全体の取り組みに第4波の経験が活かされたこともあり首都圏のような状況にはなりませんでしたが、患者数の減少があった1〜2週間遅れていれどうなっていたか分からない、ギリギリの状況と感じています。

第5波収束の要因がはっきりしないこともあり第6波以降の予測が立ちにくいですが、第5波までの経験を活かしこれまで通り地域の救急医療を守るため、スタッフと協力し取り組んでまいります。





内科

三谷ファミリークリニック

みたに かずお
三谷 和男 院長 (写真中央)

昭和58年 鳥取大学医学部 卒業
昭和58年 大阪大学大学院医学研究科 博士課程
昭和61年 和歌山県立医科大学神経病研究部
(現・脳神経内科)

平成03年 医学博士
平成04年 木津川厚生会加賀屋病院
平成15年 京都府立医科大学東洋医学講座 助教授
平成19年 三谷ファミリークリニック開設
平成26年 奈良県立医科大学 大和漢方医学薬学センター
特任教授

たつみ よしこ
巽 欣子 副院長 (写真左)

平成 7年 奈良県立医科大学 卒業
平成 7年 医療法人同仁会 耳原総合病院 勤務
(初期研修)
平成10年 医療法人同仁会 耳原鳳病院内科 勤務
平成19年 三谷ファミリークリニック開設

よねもと ちはる
米本 千春 医師 (写真右)

平成 4年 大阪府立大学農学部農芸化学科 卒業
平成 4年 タミノイ酢株式会社 入社(〜平成7年)
平成16年 奈良県立医科大学 卒業
平成16年 市立辨病院(現・堺市立総合医療センター) 勤務
(初期研修)
平成18年 市立岸和田市民病院 呼吸器・アレルギー科
(呼吸器内科)平成21年 市立奈良病院 総合診療科 勤務
平成24年 高槻赤十字病院 緩和ケア科(緩和ケア病棟)
平成26年 医療法人出水クリニック
平成27年 医療法人八千代会 ホームケアクリニック堺
平成29年 医療法人三谷ファミリークリニック 勤務
堺市立総合医療センター 地域連携センター

スタッフ 医師 3名

最後に一言お願いします

女性医師がいることで、女性のライフサイクル全般を理解してお話を聞かせていただくことができます。「かゆいところに手が届く」そんな診療を目指しています。

耳原総合病院への希望・要望

耳原総合病院は、民医連育ちの三谷と異にとつては、親しきパートナーです。これまで困ったときに随分助けていただきました。今は、私たちが総合病院にどう役立てるか、を考えています。

地域医療について

私たちが治療困難な場合、スムーズな病診連携で耳原総合病院をはじめ専門医療機関へ紹介します。退院後も通院が困難なら訪問診療をさせていただきます。在宅療養ができるようさせていただきます。

健康に関するどんな問題でも相談にのれる、かかりつけ医(=家庭医)を目ざしています。家庭医とは「老若男女、臓器を問わず、あらゆる健康問題の予防・診断・治療・リハビリにわたるまでを担い、心理・社会的な側面まで配慮しながら、患者さまの身近な相談役となる医師」のことです。西洋医学と東洋医学を駆使して診療にあたっています。

貴院の特色はどんなところでしょうか？

健康に関するどんな問題でも相談にのれる、かかりつけ医(=家庭医)を目ざしています。家庭医とは「老若男女、臓器を問わず、あらゆる健康問題の予防・診断・治療・リハビリにわたるまでを担い、心理・社会的な側面まで配慮しながら、患者さまの身近な相談役となる医師」のことです。西洋医学と東洋医学を駆使して診療にあたっています。

医師を目指したきっかけは？

「ひと」を丸ごとみる、身近な相談役



診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00~11:00	○	○	○	○	○	○
14:00~16:00	○	×	○	×	○	×
16:30~18:30	×	○	○	×	○	×

〒593-8324 大阪府堺市西区鳳東町4-354-1

TEL.(072)-260-1601

URL.<http://www.mitani-fc.com/page1>



一緒に考えてみませんか 生きるためのACP よりよく豊かに生きるACP ～意思決定支援から共同へ～

【日時】2021年10月14日(木) 18時～20時

琉球大学地域・国際医療部の臨床倫理士である金城隆展先生のWEB講演会を行い、同仁会を始め全国より医療・介護関係者、一般の方々など、200名を超える方々にご参加いただきました。



ご講演の中には、ACPを考えるにあたっての多彩な工夫がちりばめられており、「レ・ミゼラブル」や「春の約束」の映像とともに、倫理的な課題を当事者として考えられるヒントがあり、また歴史的な『ACP・人生会議』が生まれてきた背景について端的に説明があり、改めて私たちが現在直面する問題と向き合うことになりました。

医療の発達や高齢化に伴い、ACPの議論の必要性が迫れてきていますが、「話し合いの結果が重要なのではなく、プロセスを大切にしながらご本人と繰り返し物語を紡いでいくことが最も大事なことだ」と、繰り返し語られました。

入院期間が短い中、また様々な状況の中でACPの議論ができない場合はどうしていくのか。先送りするのではなく、医療・介護者も十分に配慮しながら、個人々がどのように最後まで生きていけるかを話し合う機会をつくり、共同意思決定(シェアード・デシジョン・メイキング)の進める必要性を、ともに考える時間になりました。

***ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは:**話し合いを介した相互の理解のプロセスで、決して「何かを決めること」ではない。患者と医療従事者が共によりよく豊かに生きるために、選択を意識し「選べること(変えられること)」と「選べないこと(変えられないこと)」を見極め、当たり前におちいることなく、物語(ACP)を共に紡ぐ。

ACPは決定することではない。準備しておくこと。未来を心配するのではなく、今を大事にすることが頭に残りました。患者家族に寄り添うことはどうしたことなのか、改めて考えるきっかけになりました。(看護師)

ACPとは最後の選択を決める方法、手段と思っていた部分がありましたが、そうではなく、どうしていきたいのか?私たちは選択肢を説明しながら、患者さんの思いを傾聴し、一緒に考え、関わりを繰り返し話しあい、決めていくことであると学びました。(看護師)

医療従事者は患者の「杖」となるといえるが、とえがすくしくりとして、普段本当に患者さんを支えられているのか、重荷になっていないかを改めて考えることができました。(医師)

今回の講演でACPの重要性を知ることができました。しかし私を含め、そんなに時間的余裕がないという理由で、目を背けている人が多いのではないかと思います。自分の心を豊かにすることや、大切な人と過ごす時間が大切なんだという方向へ、日本社会全体の雰囲気を向けていくことも必要ではないかと思いました。(一般の方)



第25回 耳原総合病院 地域連携をすすめる会 ～コロナ禍においてもさらに連携を進めます～

【日時】2021年9月18日(土) 15時～16時

【場所】みみはらホール

【参加】地域の22名の先生方/職員40名

本年もコロナ禍の中での開催となりましたが、感染対策を十分に行い短時間で地域の医療機関の先生方と意見交換ができる研修会となりました。

冒頭、堺市医師会副会長の佐々木先生から「COVID-19蔓延期に合わせ、病床の確保など迅速にご尽力いただいた」と感謝の言葉をいただきました。



地域医療支援病院とがん診療拠点病院の取り組み

河原林 正敏 病院長

昨年度も断らない医療の実践として、救急外来は7000台近い救急搬送を受け入れ、また入院では全身麻酔手術件数が過去最多となり、コロナ禍の中でも通常診療を続けてきた報告を行いました。

ただ、がん診療に関しては、コロナ禍と相まって受診時期が遅れる傾向がみえ、クリニックの先生方とより一層の連携を強めつつ、早期の精査・治療に繋げていくことが課題である、との報告を行いました。

最後に地域の先生方からはCOVID-19の検査や診断についての質問や、診療スタンスを変えざるを得ないジレンマについての発言などもありましたが、当院の診療や展望に対して共感の感想をいただきました。

COVID-19の診療からこれからの地域連携を考える

大矢 亮 副病院長/救急診療センター長

2012年に地域医療支援病院の認可を受け、地域医療の推進のために開かれた病院としてトリアージ機能を高めてきた経過や、COVID-19の発生状況と合わせた現時点での総括を行いました。

治療内容についてはカクテル療法など事例を交えて紹介し、患者に向き合うなかで地域連携の重要性を日々感じていた思いから、コロナが落ち着いてもさらにこの連携を強めていきたいと締めくくりました。

体幹(胴体)を鍛える

腰痛の原因の1つには、体幹の筋力や柔軟性の低下が関係していると考えられています。筋力や柔軟性はトレーニングやストレッチを行うことで改善します。

体幹トレーニング

① 立ってもも上げ



運動トレーナーの 運動 早わかり

Lessons **25**



健康運動指導士 竹内 大治

略歴/新潟県妙高市(旧新井市)出身
日本ヘルス&スポーツ学院 スポーツ健康管理科 卒業
放送大学教養学部 生活と福祉コース 卒業
大阪に来て1年、感想を1言! : めっちゃはやっ!
最近感動したことは?: サッカーなでしこリーグ某チーム
監督と久しぶりに再会したこと
会ったことのある有名人は?: 三浦知良(キングカズ!)
30年以上前ですが、...

② 座ってもも上げ

- ◎イスに座って、背もたれにもたれる
- ◎イスを持ちながら両足を上げる



食べる
ことは

生きる
こと

25

上原 悟 (調理師)

患者さんのことを第一に考えながら、調理をしています。

佐波 清花 (管理栄養士)

身近な食品で簡単に作ることができると感じています。

冬野菜ポトフ

※画像は1人分です

栄養豊富なブロッコリーで、
こころもからだも温まろう

冬野菜のひとつであるブロッコリーは栄養価の高いことで知られており、ビタミンCやビタミンE、ビタミンK、葉酸などたくさんの栄養素が含まれています。ビタミンCには抗酸化作用があり、免疫力アップやストレスへの抵抗力アップに効果があります。ビタミンEにも抗酸化作用がありますが、こちらは細胞に働き、肌を紫外線から守る効果があります。また、ビタミンKは骨作りに不可欠な栄養素で、葉酸はタンパク質の合成に関わる栄養素です。

今回はそのブロッコリーを使用し、寒い冬にぴったりのポトフを仕上げました。ポトフのスープと一緒に食べることで、野菜から溶けたビタミンを逃さず取り入れることができます。栄養満点の野菜と温かいスープで強い身体を作り、厳しい寒さを乗り越えましょう！

材料 2人分

[1人あたり] エネルギー/229kcal 塩分/2.59g

ブロッコリー…100g 南瓜…100g 玉葱…60g
人参…60g ジャガイモ…100g ベーコン…5枚
すりおろしにんにく…適量 ローリエ…1枚
コンソメ…小さじ2 塩…少々 ブラックペッパー…適量

作り方

- 1 ブロッコリーと南瓜、ジャガイモは食べやすい大きさに切る。玉葱はくし切り、人参は乱切りに切る。ベーコンは3cm幅で切る。
- 2 水400ml入れた鍋に①とベーコンを加えて加熱する。
- 3 温まってきたらローリエとコンソメ、すりおろしにんにくを加える。
- 4 弱火～中火で柔らかくなるまで約20分煮込む。
- 5 塩とブラックペッパーで味を調える。

ポイント にんにくやローリエを加えることで風味を生かし、調味料を節約することができます。

MIMI HARANA さん

なぜこの職場に？

子どもが好きだったので保育士を目指していましたが、弟の産産を機に助産師を目指しました。

就職したときは小児科で看護の基礎を学びながら楽しく過ごしましたが、今年の4月から産婦人科に配属になり、日々また違う楽しさを学んでいます。

マイブームは？

【ネットショッピング】

コロナ禍で外に出ることも少なく、家でネットで買うことが多くなり楽しみが増えました。

【お菓子作り】

小学生のころからお菓子作りが好きで、頻繁には作れないですが気分転換に作っています。

あなたからみた耳原は？

患者さんにやさしく、職員同士仲良くアットホームな場所だと感じています。

大切にしていることは？

【家族】

一人暮らしを始めてから、家族のありがたさを感じました。12・13歳離れた弟がいるので、小さい時からすごくかわいがり、なんでも買って甘やかしています。

【挨拶】

仕事をする上で一番大切にしています。特に初めて会う方にはしっかり挨拶をして、その人との距離を縮めるためにも必要だと感じています。

産婦人科 (入職3年目)

助産師1年目、フレッシュな風を吹かせます

OKAJIMA CHIAMI

岡島 茅亜実

大阪府堺市出身

8月より 月曜日午後「母性内科外来」を開設しました

周産期センターで母性内科を担当しています岩崎です。

母性内科とは、簡単に言うと、お母さん（母体）の内科的疾患を管理する内科です。主には、糖尿病や甲状腺疾患の診療をしています。

妊娠には、喜びと少しばかりの不安が伴います。そんな不安を軽減できるように、お母さんに寄り添いサポートしていきます。

地域の産科の先生方にも、どうかお気軽にご相談いただきますよう、よろしくお願い致します。



岩崎 桂子医師

NICU(新生児集中治療室)も昨年10月より開設しました



ベッド数は 3 床で在胎 34 週以降の児が対象と小規模ではありますが、呼吸器疾患や循環器疾患、内分泌疾患、感染症など幅広い疾患に対応いたします。また、高次医療機関とも連携しており、当院での治療が困難な場合も速やかに搬送することが可能です。お母様の不安を少しでも和らげられるよう、スタッフ一同心を込めて対応させていただきます。

医師、助産師や看護師も壁画に参加!

医師からの発案で「いのちのつながり ～太陽のバトン～」と題し新生児室・NICUの壁画アートを作成しました。



少しでもお母さんの不安が取りのぞけますように・・・

		月	火	水	木	金	土
内科	総合診療センター外来 紹介・午前診	岩崎桂子(糖尿病)	大矢亮(総合内科)	杉本雪乃(総合内科)	藤本卓司(総合内科) 大矢麻耶(腎臓内科)	松田友彦(消化器内科)(1)(3)(5) 植田祐美子(腎臓内科)(2)(4)	-
	総合診療センター外来 紹介・午後診	(予)岩崎桂子(母性内科) (予)川口真弓(リウマチ)	-	-	-	-	-
	ER・全日	24時間随時対応 ※TELにて事前にお問い合わせください。					
循環器センター外来	午前診	-	(予)鈴鹿裕城/(予)成田亮紀	(予)石原昭三/(予)宮部亮	(予)具滋樹/(予)松岡玲子	(予)橋本朋美	不整脈外来(1)(3)/ペースメーカー外来(2)(4) (予)循環器外来
	午後診	(予)南里直実/ (予)橋本朋美	-	ペースメーカー外来(3) (予)梁泰成(1)(2)(4)	-	-	-
心血管外科	午前診	※手術日	-	※手術日	-	(予)井上剛裕	-
	午後診	※手術日	(予)札幌磨	※手術日	-	-	-
消化器センター外来	午前診	(予)山口拓也	(予)外山和隆	(予)岩谷太平	(予)吉川健治	-	-
	午後診	-	-	-	-	(予)河村智宏	-
外科	午前診	(予)山口拓也	-	(予)小田直文(乳腺)	(予)山口拓也	-	(予)戸口景介(1)
		(予)戸口景介	※手術日	(予)土居桃子	(予)吉川健治	※手術日	(予)裕野孝治(乳腺・甲状腺)(2)(5)
		(予)今井稔	平林邦昭	(予)中川朋	今井稔(1)(3)(5) 外山和隆(2)(4)	平林邦昭	(予)平林邦昭(3) (予)裕野孝治(4)
	※月・水・木に直接来院の方は、当日予約診の医師が交代で診させていただきます。						(予)下肢静脈瘤外来(非常勤)
	午後診	-	※手術日	-	(予)吉川健治(肝胆腫瘍) (予)山口拓也(ヘルニア) (予)小田直文(乳腺)	※手術日 (予)乳腺・甲状腺(非常勤)	-
夜診	-	-	大腸内視鏡予約外来 17:30~ (予)平林邦昭(予)裕野孝治 17:30~19:00 (予)ピロリ菌除菌外来(1)(3) 17:30~19:00	-	-	-	
緩和ケア外科	午前診	-	(予)緩和ケア面談	-	-	-	-
	午後診	-	(予)症状緩和外来	(予)緩和ケア面談	(予)症状緩和外来	-	-
呼吸器外科	午前診	-	-	-	-	(予)佐藤泰之	-
	午後診	-	(予)佐藤泰之	-	-	-	-
整形外科	午前診	(予)吉岡篤志 (予)小松俊介	※手術日	(予)小松俊介 (予)吉岡篤志	※手術日	(予)吉岡篤志(関節外科) (予)守津汀	-
	午後診	(予)吉岡篤志(背椎外科)/(予)守津汀	※手術日	(予)河原林正敏	※手術日	-	-
	夜診	-	-	(予)吉岡篤志 17:30~19:30	-	-	-
脳外科	午後診	-	-	-	-	(予)非常勤 14:00~16:00	-
頭痛・てんかん	午前診	-	-	-	-	(予)清水恵司	-
	午後診	-	-	(予)清水恵司	-	-	-
泌尿器科	午前診	(予)田原秀男 ※新患のみ	(予)田原秀男 (予)浜口守	※手術日	(予)田原秀男 (予)松村直紀	(予)松村直紀 (予)浜口守	-
	午後診	※手術日	検査	※手術日	ESWL	検査	-
皮膚科	午前診	-	-	-	-	(予)廣田菜々子	-
歯科口腔外科	午前診	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○(1)(2)(3)(4)
	午後診	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	-
産科	午前診	(予)交代制	(予)交代制	(予)交代制	-	(予)交代制	(予)交代制
	午後診	(予)交代制	-	(予)交代制	-	(予)交代制	-
婦人科	午前診	(予)内田学/交代制	(予)坂本能基/交代制	(予)松岡智史/瀧口善弘	※手術日	(予)高木力/斎藤庸太	(予)交代制
	午後診	婦人科特診	-	婦人科特診	※手術日	-	-
精神科※	午前診	(予)非常勤	(予)非常勤	-	(予)非常勤	(予)非常勤	(予)非常勤(2,4)
眼科※	午前診	-	-	(予)非常勤	(予)非常勤	(予)非常勤	-

※医師の休暇等で診療体制に変更がある場合がございます。事前にお問い合わせください。
 ※内科疾患全般は総合診療センター外来(紹介制)でお受けいたします。
 紹介状をお持ちでない方は、みみはら高砂クリニックもしくはお近くのかかりつけ医を受診願います。
 尚、緊急・救急時のER(救急外来)に関しては24時間対応をさせていただきます。

※小児科では緊急時(診察・検査・入院など)のみお受け入れしております。事前にお問い合わせください。
(紹介患者さんのお受け入れ致します)
 ※小児科一般診療はみみはら高砂クリニック(月~土)受付時間 8:30~11:30
 ※分娩予約は随時受け入れております。産科受診にしましては、医師指定はできません。
 ※精神科は非常勤のみの完全予約制ですので、事前にご予約ください。(緊急のお受け入れはできません)

※精神科は外来のみで、ご入院はお受け入れしておりません。
 ※土曜日、新規の患者さんのお受け入れはしておりません。
 ※症状緩和外来のご予約に関しては、事前にお問い合わせください。
 ※眼科は白内障の手術を主とした手術適応の患者様をお受けしています。
 ※定期フォローをする機能はございません。



地域医療
支援病院

大阪府
がん診療
拠点病院

みみはら
VOL.25
Winter
2021年12月1日発行

発行人 河原林 正敏 発行 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
 〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地 TEL 072-241-0501(代表)
 各医療機関様専用 直通ダイヤル TEL: 072-241-0324 FAX: 072-241-0208
 URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>